災害時安否確認カードの使い方

災害の発生直後は、市や消防、警察などの活動が追い付かず、すぐに救助や支援が来ないかもしれません。地域の方々が安心して過ごすには、ご近所同士の助け合いが大切です。

「災害時安否確認カード」を使えば、無事な家と支援が必要な家をすばやく特定できます。

○ 自宅のドアノブ等に、お配りした「災害時安否確認カード」を掲示してください。

○（余裕のある方は）近所を見回って、カードが出ているか確認してください。

要支援

すぐに声掛けを！

- 周囲への応援を頼む
- 救急・消防（１１９番）、市役所などに連絡

支援不要

- 他の家を優先してまわりましょう。

※掲示のない家には、「大丈夫ですか？」の声かけをお願いします。

■市内で震度5弱以上の地震が起きたとき

■掲示する期間 3日間

※人命救助の際、生存率が大きく低下する「72時間の壁」の時間中に掲示することで、安否確認・人命救助が効率的に行われるようになります。

阪神・淡路大震災では多くの家屋が倒壊しましたが、そこから救助された人のうち、地域の方々によって救助された人の割合は、８割にのぼります。
地域一丸となって災害を乗り越えるため、皆様のご協力をお願いいたします。

神奈川県　伊勢原市　峰岸下自治会